

新・公立宇出津総合病院改革プラン 点検及び評価報告書

平成29年10月

石川県能登町

はじめに

総務省より平成26年度に「新・公立病院改革ガイドライン」が通知されたことにより、新・公立宇出津総合病院改革プランを平成28年度に策定いたしました。これにより、病院機能の見直しや、病院事業の経営の改革に取り組み、そのプランを住民に対して速やかに公表するとともに、自己点検及び自己評価書を作成し、有識者や地域住民の参加を得て設置した評価委員会に見直し等をするなどして、評価の客観性を確保することとなりました。

今回、平成28年度の決算を受けて、新・公立宇出津総合病院改革プランの自己点検と自己評価を行ったことから、その結果を報告いたします。

なお、評価に当たっては、次の方法により行いました。

数値目標に対する評価

区 分	評価の内容
A	目標達成値が100以上の場合
B	目標達成値が95以上で100未満の場合
C	目標達成値が95未満の場合

※目標達成値＝実績値÷目標値×100

取組状況に対する評価

区 分	評価の内容
A	評価取組にあげた取組は、全て行った。
B	評価取組にあげた取組は、一部だけ行った。
C	評価取組にあげた取組は、行わなかった。

※平成28年度に、新改革プランを策定したことから、平成29年度は、取組状況に対する評価は行っておりません。

今後も地域の基幹病院として、町民の命と健康を守り、安定した医療を継続して提供するため、経営改善の取り組みを強化し、改革プランの目標達成に向け努力いたします。

1 医療機能等指標に係る数値目標

(ア) 一般病床の平均在院日数 (単位：日)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
15.9	19.0	16.9	89	C	19.0

※実績増減は1.0日の増となった。平成29年度も、経営上の観点から看護基準10対1の21日を超えない19日以上20日以内を目標とする。

(イ) 地域包括ケア病床の在宅復帰率 (単位：%)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
96.6	90.0	93.6	104	A	90.0

※実績増減は3.0%の減となったが、目標値は達成した。平成29年度も、地域包括ケア病床の設置基準である復帰率は、70%でクリアとなるが余裕をもった90%台を目標とする。

(ウ) 救急搬送受入件数 (単位：件)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
514	504	507	101	A	500

※実績増減では7件の減となったが、目標値は達成したのでA評価となった。平成29年度は500件を目標とする。

(エ) オープン検査件数 (単位：件)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
15	90	80	89	C	90

※実績増減では65件の増となったが、目標達成値が89によりC評価となった。平成29年度は、達成できなかった90件を再度目標とする。

(オ) 町内医療機関への当直表配布 (単位：箇所)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
0	1	1	100	A	7

※平成28年度は、小木クリニックに配布表を送付した。平成29年度は、町内の医療機関7箇所を目標とする。

(カ) 訪問看護の訪問戸数

(単位：戸)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
122	115	116	101	A	—

※実績増減では、6件の減となったが、目標値は達成した。平成29年度からは、数値目標として訪問戸数から、訪問看護実人数や訪問看護延人数に変更し数値目標とする。

(キ) 訪問看護実人数

(単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
26	—	27	—	—	30

※平成29年度から訪問看護実人数を数値目標に掲げた。平成29年度は、平成28年度実績の3名の増の30人を目標とする。

(ク) 訪問看護延人数

(単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
767	—	847	—	—	940

※平成29年度から訪問看護延人数を数値目標に掲げた。平成29年度は、平成28年度実績の93名の増の940人を目標とする。

2 経営指標に係る数値目標

(ア) 経常収支比率

(単位：%)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
103.4	103.2	105.2	102	A	101.0

※職員数が、医師3名、看護師4名、医療技師1名の合計8名の増となり、給与費の増が見込まれ、平成29年度は、平成32年度目標値を下回らない101.0%を目標とする。

(イ) 医業収支比率

(単位：%)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
94.0	94.1	95.4	101	A	92.0

※職員数が、医師3名、看護師4名、医療技師1名の合計8名の増となり、給与費の増が見込まれ、平成29年度は、平成32年度目標値を下回らない92.0%を目標とする。

(ウ) 人件比率 (職員給与費対医業収益比率)

(単位：%)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
55.7	56.7	55.2	97	A	57.0

※目標達成値が97となるが、人件比率のため、評価はAとなった。職員数が、医師3名、看護師4名、医療技師1名の合計8名の増となり、退職給付費を除く給与費の増が見込まれ、平成29年度は、平成32年度目標値を上回らない57.0%を目標とする。

(エ) 後発医薬品比率

(単位：%)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
23.5	22.0	23.2	105	A	24.0

※実績増減は0.3%の減となったが、目標値は達成した。平成29年度は、24.0%を目標とする。

(オ) 新入院患者数

(単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
1,965	1,932	1,945	101	A	1,950

※実績増減は20人の減となったが、目標値は達成した。平成29年度は、検査入院を推進し、救急患者の外来短期入院などを積極的に行い、1,950人を目標とする。

(カ) 病床利用率 (単位：%)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
70.6	72.0	75.6	105	A	75.6

※実績増減は、5.0%の増となった。平成29年度は、平成28年度の75.6%超を目標とする。

(キ) 維持透析患者数 (単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
46	45	46	102	A	47

※平成29年度は、平成28年度実績の1人増の47人を目標とする。

(ク) 早期リハビリテーション加算算定単位数 (単位：単位)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
6,789	6,576	6,537	99	B	6,600

※実績増減は252人の減となった。評価については目標達成値が99によりB評価となった。平成29年度は、平成28年度を上回る6,600単位を目標とする。

(ケ) 常勤医師数 (単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
13	13	13	100	A	15

※平成29年度は、小児科医師や金大地域枠医師の獲得を目指し15人を目標とする。

(コ) 認知症ケア加算対象の看護師数 (単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
0	12	13	108	A	16

※平成29年度は、3人の看護師を研修させ、16人を目標とする。

(サ) セラピスト数

(単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
5	5	5	100	A	5

※理学療法士及び作業療法士については、地域包括ケア病床が20床となれば、6人必要となるため、平成29年度は、5人の維持を目標とする。

(シ) 薬剤師数

(単位：人)

平成27年度 実績	平成28年度		目標 達成値	評価	平成29年度 目標
	目標	実績			
4	3	3	100	A	4

※平成29年度は、1人増の4名を目標とする。

3 目標達成に向けた具体的な取組

(ア) 民間的経営手法の導入

目標項目	評価取組	評価
医療機器保守契約 更新の見直し	・医療機器保守契約更新については、必ず検証を行い協議する。	—

目標項目	評価取組	評価
給食委託について	・栄養管理室と協議を進め、給食委託の可否について協議する。	—

目標項目	評価取組	評価
検査委託範囲について	・委託検査から院内検査への取り込みや新規実施検査を行う。 ・臨床検査適正化委員会を年2回開催し、各科の医師や医療スタッフと検査委託について協議する。	—

(イ) 事業規模・事業形態の見直し

目標項目	評価取組	評価
病床利用率 70%超え の維持について	・地域包括ケア病床数(14床)のベッドコントロールを行い、地域包括ケア病床利用率95%を目指し、全体の病床利用率上昇を目指す。	—

目標項目	評価取組	評価
地域包括ケア病床の増床について	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度に、地域包括ケア病床を 9 床から 14 床に増床を行った。今後は、地域包括ケア病床の、20 床以上の増床に向けて、地域包括ケア病床利用率 95%を目指す。 	—

(ウ) 経費削減・抑制対策

目標項目	評価取組	評価
後発医薬品への切替促進について	<ul style="list-style-type: none"> 同一成分でありながら先発品と後発品があるものは、後発品のみ採用とする。 使用の多い薬剤でジェネリック（後発品）に変更可能なものから、切替を始める。 	—

目標項目	評価取組	評価
同種同効果薬材の一本化について	<ul style="list-style-type: none"> 院内薬事委員会の審議回数を 2 回とし、同種同効果薬の整理を行い、採用薬の削減に努める。 新規採用薬については、一増一減の原則を順守する。 返品不可のメーカーが増えてきたので、対応を協議する。 	—

目標項目	評価取組	評価
退職職員を臨時職員切替について	<ul style="list-style-type: none"> 退職職員の中から臨時職員を採用し、医療経験豊富な職員を引き続き雇用する。 	—

(エ) 収入増加・確保対策

目標項目	評価取組	評価
各種加算項目の見直し及び取得について	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤指導管理料の再取得。 認知ケア加算 2 の取得。 	—

目標項目	評価取組	評価
透析需要増への対応	<ul style="list-style-type: none"> 48 人の維持透析患者の受入が可能だが、需要が増となった場合には、看護師の配置や透析診療日等について協議する。 	—

目標項目	評価取組	評価
看護基準 10 対 1 の堅持	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師数、勤務時間の調整、看護必要度の 12%をクリアする。 ・定期的に行っている必要度管理委員会において、必要度評価監査を行う。 	—

目標項目	評価取組	評価
認知症ケア加算 2 の取得について	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者のアセスメント及び看護方法等について、研修を受講した看護師の配置を行う。 ・認知症ケアに関する手引書の作成を行う。 ・看護師に認知症ケア加算 2 に向けて、看護研修等についての周知を行う。 	—

(オ) その他

目標項目	評価取組	評価
薬剤師修学資金の開始について	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習に参加された中高生に対し、薬剤師修学資金について説明を行う。 ・大学に薬剤師修学資金のパンフレット等で、募集の周知を行う。 	—

目標項目	評価取組	評価
紹介状ありの患者様の優先診察について	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介状を持っている患者様については、紹介状を総合窓口、外来窓口に提出してもらうことで、優先診察を行っているという情報の、発信を行う。 	—

(カ) 職員の意識改革

目標項目	評価取組	評価
病院長の医局員への指導体制の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・加算体制に応じた基準の確認や、病院内のルール徹底、医療事故防止等の観点から、これまで以上に病院長の医局員に対する指導体制を強化する。 ・医局会には、医局員に極力出席するよう周知する。 	—

目標項目	評価取組	評価
各科症例検討会及び医師会合同症例検討会の拡充について	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルラウンド等により、能登北部医療圏の医療機関と症例検討会を行うことにより、連携を密にし、地域医療の推進を図る。 	—

目標項目	評価取組	評価
目標管理及び意識改革を目的とした各部門ミーティングの実施について	<ul style="list-style-type: none"> 改革プランワーキンググループを、年2回開催し、各職種部門のミーティングを実施し、数値目標や取組状況について点検、確認を行う。 	—

目標項目	評価取組	評価
職員研修機会の拡充について	<ul style="list-style-type: none"> 看護師ファーストレベル研修、看護師セカンドレベル研修の実施。 認知症看護研修の実施。 認定看護師研修の実施。 	—

目標項目	評価取組	評価
経営状況や直面している諸問題の、全職員の共通認識する情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> 経営状況説明会を年2回開催し、その中で、経営状況や諸問題を、全職員に情報を発信する。 病院幹部や町幹部には、経営改善会議を2回開催し、経営状況や諸問題について、情報を発信する。 	—